

環境負荷の把握と環境汚染の防止

オカムラグループは、環境負荷低減に向けた効果的な取り組みとして、製品製造時や製品の原材料に使用される化学物質が環境や健康に影響を及ぼす可能性を認識し、化学物質の管理の強化に努めるとともに、汚染防止に向け開発・生産部門などの関連設備等の適正な管理を徹底しています。(データ集▶P.148)

化学物質排出・移動量の削減

オカムラグループでは、製造段階における塗装工程や接着工程など、事業活動に伴いさまざまな化学物質を使用しており、PRTR制度*1対象物質の排出・移動量に関して目標値を設定し、削減に取り組んでおり、2022年度の排出・移動量は原単位前年度比18.7%減少しました。塗装前処理剤や接着剤をPRTR制度の届出対象物質*2を含まないタイプに切り替えるなどの対応により、着実な削減を図っています。

なお、2022年度はオカムラの事業活動において環境汚染に関わる法令違反や事故、訴訟はありませんでした。

*1 PRTR制度：「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の中で、事業者が対象化学物質の移動量・排出量を把握し、国に届け出ることを義務づけた法律

*2 届出対象物質：取扱量が1,000kg/年以上の物質

製品に含まれる化学物質の管理

オカムラグループでは、表面処理剤、接着剤、樹脂、化粧品などに化学物質を使用しています。化学物質を含有している材料に関しては、安全データシート(Safety Data Sheet: SDS)をメーカーより入手して各生産事業所で一元管理し、危険有害性や環境への影響の評価、必要に応じたリスク低減措置を行っています。また、製品の開発・設計時に製品アセスメントを実施し、規制の対象となる化学物質が使用されていないかを確認し、使用されている場合にはより環境負荷の少ない

PRTR制度届出物質の排出量(2022年度)

※ 取扱量が1,000kg/年以上の物質

種別	政令 番号	CAS番号	物質名	取扱量 (kg)	行政に届出する量(kg)			
					排出量		移動量	
					大気への 排出	公共水域 への排出	下水道への 移動	当事業所の外への移動 廃棄物
1種	053	100-41-4	エチルベンゼン	15,414.3	14,001.4	0.0	0.0	1,145.1
1種	076	105-60-2	イプシロン-カプロラクタム	1,698.5	523.2	0.0	0.0	0.0
1種	080	—	キシレン	30,848.2	25,671.2	0.0	0.0	2,056.2
1種	186	75-09-2	ジクロロメタン	3,134.0	3,134.0	0.0	0.0	0.0
1種	235	—	臭素酸の水溶性塩	2,471.2	1,638.6	225.6	12.0	151.2
1種	296	95-63-6	1,2,4-トリメチルベンゼン	16,236.7	15,018.3	0.0	0.0	1,074.2
1種	297	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン	4,096.4	3,758.4	0.0	0.0	264.6
1種	300	108-88-3	トルエン	27,224.5	25,827.3	0.0	0.0	1,357.5
1種	302	91-20-3	ナフタレン	1,987.0	1,753.6	0.0	0.0	150.5
特1種	411	50-00-0	ホルムアルデヒド	1,501.1	1,324.1	0.0	0.0	68.1
1種	448	101-68-8	メチレンビス(4,1-フェニレン)= ジイソシアネート	86,459.6	131.3	0.0	0.0	108.2
合計				191,071.7	92,781.4	225.6	12.0	6,375.6

材料へ変更しています。

有害物質の適正管理による汚染防止

オカムラでは、ポリ塩化ビフェニル(PCB)含有機器類として蛍光灯用安定器を保有しています。これら全ての機器に関し

て法令に基づき行政に届出を行い、指定処理施設での処理の登録が完了しています。処理が可能になるまで、厳重に管理・保管しています。